

見るところ

子どもたちの明るく元気な笑顔！
子どもの笑顔がキラキラしていたら、その笑顔を生みだす先生たちもキラキラしているはずです！



聞くところ

ピアノが苦手でも大丈夫？どんなスキルが求められる？少し聞きづらいですが…不安はしっかり解消しておくべし！『ピアノが苦手』という先輩が実際にいたことにも勇気づけられました！



感じるところ

園内で聞こえる言葉、先生同士の会話から、職場の雰囲気を体感！私は、「ありがとう」が多い杉の子幼稚園のあったかい雰囲気に一目惚れしました！



一人ひとりと対等に向き合い
照らす、子どもたちの未来

そんな感動の日々を過ごし、今年で三年目のちづる先生。保育では「対等な関係」を大切にしていると話す。「子ども一人ひとりの個性を伸ばすのが杉の子流。そのために、子どもと同じ目線に立ち、一人ひとりと対等に向き合い、励まし、褒めることで、子どもが自信を育み、笑顔を引き出せるよう保育をしています」また、「自分で考える力」も重視しているそう。「たくさんさんの情報、たくさんさんの選択肢がある現代を生きていく子どもたちにとって『自分で考える力』は、将来の大きな助けになると思うんです。だから、日常的に制作で何を作るか、運動会で何をするか、子ども同士で話し合う時間を作り、自分で考え、実現する喜びを伝えていきます」

認め合う心が笑顔を生む
ありがとうが紡ぎだす絆

最後に、笑顔で働く秘訣を聞いた。「クラスを越えたチームワークと、『あのとき良かったよ』と小さな変化にも気づき声をかけてくれる先輩たちのおかげです！それから『ありがとう』のおかげです」園内を歩いていると「なにか手伝いますか？」「ありがとう」という声が聞こえてくる杉の子幼稚園。その環境作りに一役買っているのは、おひさまカードだ。「おひさまカードは、おひさまと」を伝えるカード。毎週金曜日に先生同士で渡しあっています。感謝をきちんと伝えあうことって、すごく大切。互いに認め合い、感謝し合う心が仲の良さを生んでいます。そんな仲間がいるからこそ、子どもと一緒に成長していく毎日。心をから楽しめるんです！」そう話すちづる先生は、杉の子幼稚園の先生たち同様、キラキラと輝いていた。

法人概要

認定こども園 杉の子幼稚園

東京都足立区
花畑4-36-5
☎03-3883-2525
設立:1968年6月



子どもの個性を伸ばすことを重点に、自発的な「あそび」を大切に保育・教育を実践。「できる」の楽しさ・成功体験といった原体験から子どもを育てる。担任の負担軽減のため、フリー教諭が教材準備等を担当。産休・育休実績多数、研修制度（園内研修・外部研修）の充実、4年勤務で海外旅行進呈さらに「ありがとう」が溢れる職場づくりなど、先生も笑顔になれる環境だ。

施設別&教育別！ 園見学で見るところ聞くと感じるところ 音楽

COCOCARI Case 15 RESEARCH

ピアノが苦手でも楽しめる 幼稚園秘話

園内に溢れる眩しい笑顔
みんなの心温める幼稚園



共栄大学 卒業
2016年4月 入職
渡邊 ちづる
Chizuru Watanabe

明るい笑顔と素直な心が魅力。子どもたち、仲間たちから愛されてやまない新卒3年目。「持ち前の素直さで、周りの先輩たちから良いトコロをどんどん吸収していて、頼もしい！」と園長や先輩たちから太鼓判を押されるエース職員だ。「3年目は、1、2年目で学んだことを活かして、先を考えつつ行動することが目標です」とのこと。

ピアノが苦手…それでも！
不安を上回るワクワクの秘密

杉の子幼稚園に入ると、迎えてくれたのは取材陣へのウェルカムボード。「園を訪れる方を歓迎しようと思ったんです」と教えてくれたのは、新卒三年目の渡邊ちづる先生。持ち前の素直さを活かし、ぐんぐん成長中の先生だが、実は苦手なことがあるという。「実は…ピアノが苦手なんです」幼稚園といえばピアノが必要なイメージ。就職時、不安はなかったのだろうか。ちづる先生に、自身の就職活動時の話を聞いてみた。「就活では、一般企業、幼稚園、幅広く探していました。そんな中、園見学で出会ったのが杉の子幼稚園。園内に入ると、子どもの元気な笑い声、先生の楽しげな会話が聞こえてきて…すぐに『あ、素敵だな』と。見学を進めている間も、出会う先生みんながキラキラしていて憧れました！そして、どの先生も笑顔で挨拶してくれたことが嬉しくて。園全体から伝わってきた歓迎の心、あったかい雰囲気に、どんどん惹きこまれていきました」

もちろん不安もあったとちづる先生。「杉の子幼稚園が音楽に力を入れていると知って不安が頭をよぎったことも。でも、そんな不安を打ち明けたとき、園長先生が『ピアノが苦手でも、自分の長所を活かせば大丈夫！』と言ってくださったんです。心強かったですね。そして、なによりも『苦手があってもここがいい、ここで働いたら楽しそう！』というワクワクが上回っていて…杉の子幼稚園以外の選択肢を考えられませんでした」とちづる先生は話す。「ピアノは、実は今も苦手ですが、得意な先輩たちが助けてくれるので苦ではないです。難しい楽譜は、音楽の専任講師の先生が簡易版を作ってくれることも。アドバイスをもらいながら自分なりに練習しつつ、子どもと一緒に成長中です」日々の音楽の時間は、発表会での演奏や鼓笛隊につながるそう。「演奏や鼓笛隊の本番は、感涙必至！子どもたちと一緒に頑張った分、喜びと感動は格別です！」と教えてくれた。